

平成 26 年 5 月 北秋田市長定例記者会見

平成 26 年 5 月 1 日（木）午前 10 時 00 分

市役所本庁舎 大会議室

1. 岩手県山田町への職員派遣について
2. 第 29 回国民文化祭 あきた 2014 について
3. チャレンジデー2014 について
4. 秋田県 L P ガス協会との災害協定について
5. 伊勢堂岱遺跡の一般公開について
6. 保育料の改定について
7. 秋田内陸線のりものまつりにについて
8. その他

1. 岩手県山田町への職員派遣について

東日本大震災から3年が経過し、被災地では今なお復旧復興への取り組みが続いている中、当市ではこれまでもできる限りの支援をさせて頂いてきておりますが、この度、改めて岩手県山田町から職員派遣の要請がありましたので、5月1日付けで、職員1名を派遣することといたしました。

業務内容は、これまでと同様に家屋調査等の税務事務ということもあり、税務課市税係の職員を12月末までの8か月間派遣することとしたものであります。

同じ東北の自治体の仲間として、改めて山田町をはじめ被災地の一日も早い復旧復興をお祈りするとともに、引き続き支援協力を行っていきたいと考えております。

2. 第 29 回国民文化祭あきた 2014 について

本年秋に開催されます国民文化祭の北秋田市主催事業の一つであります「現代詩フェスティバル」の関連事業として、6 月 8 日の日曜日に「走れ内陸線☆コトバ列車！～内陸線の景色とお話ししてみよう！～」をテーマとした詩作の旅が行われます。

このイベントは、昨年 6 月にもバスによる詩作の旅として実施したところ大変好評であったことから、今回は小中学生と高校生を対象に、内陸線を活用することとしたものであります。

内容といたしましては、内陸線で鷹巣から角館に向かい、車中で秋田県現代詩協会の方々を講師に、詩に親しみながら、詩のつくり方を教わり、車窓から見える景色や角館の武家屋敷の散策で感じたことで詩を作ってみるというもので、詩を作ることの楽しさを感じてもらい、詩の創作意欲の向上へとつなげてまいりたいと考えております。

内陸線のお座敷列車を利用することから参加定員は 40 名としており、事前に生涯学習課への申し込みが必要となりますが、参加料は無料となっております（昼食は自己負担）ので、ぜひこの詩作の旅を通じて、子供たちに詩を身近に感じてもらうとともに、6 月末までとなっております文芸祭現代詩大会への作品募集に対する地元の小・中・高校生からのより多くの応募につなげ、国民文化祭を盛り上げてまいりたいと考えております。

3. チャレンジデー2014 について

いよいよ、今年のチャレンジデーが、今月 28 日の水曜日に行われます。

ご存知のように、チャレンジデーとは、日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくりやスポーツによる健康づくり及び地域の活性化を目的とした住民総参加型イベントで、人口規模の類似した自治体同士が、毎年 5 月の最終水曜日に、継続した 15 分間以上の運動を行った住民の参加率を競い合うユニークなスポーツイベントです。

当市では昨年に引き続き 2 回目の参加となり、今年度の対戦相手である岡山県備前市の吉村市長(※)とのエール交換を本日 11 時から行うことといたしております。

当日は市内の公民館や体育施設を無料開放するほか、市民プールと鷹巣体育館では、無料体験ができるスポーツ教室などを計画しておりますし、各自治会やスポーツ団体などにおいても、様々な計画を練って頂いているところです。

昨年は佐賀県神埼市との対戦で、残念ながら負けてしまいましたが、今年度も参加率 50%以上の金メダルを目標に、各地域での住民説明会などを開催し、参加率向上のために取り組んでいるところであります。

また、このチャレンジデーを盛り上げるためにオリジナルTシャツの販売を行っており、スポーツ振興課で申し込みを受け付けております。ぜひとも、当日には、市民の皆様一人ひとりがこのTシャツを着て、15 分間以上の運動にチャレンジしてもらいますよう、報道機関の皆様にも大いにPRして頂きたくよろしくお願いをいたします。

※正確には、「吉」の字の「士」が「土」となります。

4. 秋田県ＬＰガス協会との災害協定について

この度、秋田県ＬＰガス協会との災害協定を５月１２日の月曜日に締結することとなりました。

この協定では、災害時に加盟事業所との連携による備蓄物資の供給や、避難所や被災者へのガスの優先供給などについての具体的な協力体制を確認することとなっており、全国の自治体との災害協定締結を進めている一般社団法人全国ＬＰガス協会及び秋田県ＬＰガス協会から、今回の申し出があったものであります。

ＬＰガスは、電気や都市ガスなどの集団供給ではなく個別供給であることから、災害時の早期復旧のみならず、調理や給湯、発電や暖房などの幅広い用途での支援が期待されており、大変心強い協定締結であると感じております。

北秋田市内には全部で１７のガス事業所があるとのことですので、この協定締結を機に、各事業所との連携をより一層図りながら、さらなる安全安心な防災体制づくりを進めて参りたいと考えております。

5. 伊勢堂岱遺跡の臨時公開について

ご承知のとおり、伊勢堂岱遺跡では、昨年からの遺跡内の整備工事や、園内・芝生などの環境整備を行っている途中のため、一般公開を休止いたしておりますが、来るゴールデンウィークの3日から6日までの4日間限定で特別に公開することといたしました。

事前の予約は不要ですが、午前11時からと午後2時からの1日2回の公開としており、直接遺跡までお越し頂きますと、ボランティアグループの皆さんがガイドを行ってくれることになっております。

今年度は、遺跡の隣接地に展示施設や駐車場の整備工事が着工されることから、今後の公開予定は、国民文化祭期間中の10月4日と5日のみとなっておりますので、この機会に、現在の遺跡の状況をご覧になって頂ければと考えております。

なお、本日午後2時から、報道機関の皆様を対象とした限定公開を行う予定ですので、お時間の都合のつく方は、取材及びPR等をよろしくお願いいたします。

6. 保育料の改定について

今年度から、子育て世帯の負担軽減を図るため、保育料の改定を行っております。

例えば、保育園に入所する3歳未満のお子さんが1人いる世帯で、両親の所得税額の合計が、40,000円以上55,000円未満の場合では、これまでの36,500円だった月額保育料が14,500円の減となる月額22,000円となります。

この他、同じ世帯で2人以上のお子さんが保育園等に通園している場合は、2人目がさらに半額となり、3人目以上は無料となる他、県が実施しております「健やか子育て事業」によって、実際の保育料はさらに軽減されることとなります。

市といたしましては、「北秋田市保育園等整備計画」に沿って、引き続き生み育てやすい環境づくりを促進していきたいと考えております。

7. 秋田内陸線のりものまつりについて

5月17日土曜日と18日日曜日の午前9時30分から午後3時までの間、秋田内陸線のりものまつりが開催されます。

この「のりものまつり」は、今回で3回目を迎えますが、今年も展示会場は阿仁合駅前、阿仁庁舎前、河川公園となっております。

展示される「乗り物」は、過去最高の15団体からの20種類、出店店舗も20軒を超える状況となっており、特にこれまでの乗り物に加え、新たに地震体験車や高所作業車も登場しますし、好評の幌馬車とミニSLも楽しむことができます。

この他、内陸線の車両基地がある阿仁合駅ならではの鉄道基地体験も行われるなど、普段ではなかなか体験できないことが盛りだくさんの二日間になることは間違いありませんので、大いに満喫して頂きたいと思っております。

なお、会場周辺には駐車場は準備しておりませんので、旧阿仁花菖蒲園駐車場を臨時駐車場として、会場までのシャトルバスが運行されるとのことですが、内陸線を利用して参加された方にはもちろん記念品がプレゼントされますので、ぜひともたくさんの方に内陸線に乗って参加してもらいたいと期待をしております。

また、あさって3日には、森吉山の山開きが行われるなど、いよいよ行楽シーズンも本格化してまいりますし、好評を得ております森吉山ピステンツアーやまだまだ見頃の鷹巣中央公園の桜まつりも6日まで開催されておりますし、先日阿仁熊牧場も通常オープンをしたところであります。先ほどご紹介いたしました伊勢堂岱遺跡の臨時公開とあわせまして、市民の皆様には、残りのゴールデンウィークのイベントを十分楽しんで頂きたいと思っております。

最後に、火災予防についてお願いとなりますが、市内では昨日も原野火災が発生するなど、先月だけで合計6件もの林野火災および原野火災が発生いたしました。この時期は、空気も乾燥して火災の発生しやすい時期でもあり、原因は不明とのことですが、盛岡市での林野火災では避難勧告が出されるほどの大規模なものとなっております。消防本部でも防火巡回を強化して火災警戒にあたっておりますが、市民の皆様におかれましては、屋外でのゴミ焼きや田畑などの野焼きは絶対に行わないように、この場をお借りしてお願いするものであります。